

3-(5) 道路工品質管理一覽表

種別	試験区分	試験項目	試験基準	規格値	試験値又は管理値						備考 (試験方法等)	
					No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6		平均値
工	材料	CBR試験(路床)	当初及び土質変化時 路体 1,000m ³ に1回	最大乾燥密度の 85%以上	No.			No.				JIS・A1211
		現場密度の測定	路床 500m ³ に1回	空気間隙率 2% ≤ Va ≤ 8%	No.			No.				最大粒径53mm以下 砂置換法 JIS・A1214 最大粒径53mm超 突砂法
					No.			No.				舗装調査・試験法便覧(4)-256
		ブルーフローリング	路床仕上後全幅 全区間について実施		良好	不良(内容: ※不良の場合の措置:						舗装調査・試験法便覧(4)-288
材	料	骨材のふるい分け試験	当初及び材料変化時	40~0mm								JIS・A1102 JIS・A5001 表2参照
			53mm	100%								
			37.5mm	95~100								
			31.5mm	—	100%							
			19mm	—	95~100							
			13.2mm	—	—							
	修正 CBR 試験	当初及び材料変化時	粒状路盤 20%以上									舗装調査・試験法便覧(4)-68
		425 μ m ふるい 通過分の PI	当初及び材料変化時	6以下								JIS・A1205
		現場密度の測定	1,000m ³ に1回	締固め度 % $\bar{X}_{10} \geq 95$ $\bar{X}_6 \geq 96$ $\bar{X}_3 \geq 97$ 但し10回に9回は93.0%以上 平板載荷試験 k30=15g/cm ²	No.			No.				舗装調査・試験法便覧(4)-256
					No.			No.				舗装調査・試験法便覧(4)-256
ブルーフローリング	仕上後全区間について実施		良好	不良(内容: ※不良の場合の措置:						舗装調査・試験法便覧(4)-288		
材	料	骨材のふるい分け試験	当初及び材料変化時	40~0mm 25~0mm								JIS・A1102 JIS・A5001 表2参照 舗装施工便覧(表-3.4.3)
			53mm	100%	—							
			37.5mm	95~100	—							
			31.5mm	—	100%							
			26.5mm	—	95~100							
			19mm	60~90	—							
			13.2mm	—	55~85							
			4.75mm	30~65	30~65							
			2.36mm	20~50	20~50							
			425um	10~30	10~30							
修正 CBR 試験	当初及び材料変化時	80%以上(アスファルトコンクリート再生材90%以上)									舗装調査・試験法便覧(4)-68	
	425 μ m ふるい 通過分の PI	当初及び材料変化時	4以下								JIS・A1205	
現場密度の測定	1,000m ³ に1回	締固め度 % $\bar{X}_{10} \geq 95$ $\bar{X}_6 \geq 95.5$ $\bar{X}_3 \geq 96.5$ 但し10回に9回は93.0%以上	No.			No.					舗装調査・試験法便覧(4)-256	
			No.			No.				舗装調査・試験法便覧(4)-256		
工	粒度	1,000m ³ に1回	2.36mm ±15%以内 75um ±6.0%以内								舗装調査・試験法便覧(2)-16	
ア	ス	骨材のふるい分け試験	当初及び材料変化時	(13)								JIS・A1102 JIS・A5001 表2参照
			19mm	100%								
			13.2mm	95~100								
			4.75mm	55~70								
			2.36mm	35~50								
			600um	18~30								
			300um	10~21								
			150um	6~16								
			75um	4~8								
			骨材の密度及び吸水率試験	当初及び材料変化時	表乾密度 2.45g/cm ³ 以上 吸水率 3.0%以下							
骨材中の粘土塊量試験	当初及び材料変化時	粘土、粘土塊量: 0.25%以下									JIS・A1137	
粗骨材の形状試験	当初及び材料変化時	細長、あるいは扁平な 石片:10%以下									舗装調査・試験法便覧(2)-51	
	ファイラーの粒度試験	当初及び材料変化時	600um 100% 150um 90~100% 75um 70~100%								JIS・A5008 舗装施工便覧 表3.3.17による	
ファイラーの水分試験	当初及び材料変化時	1%以下									JIS・A5008	
	配合試験	配合ごとに1回 (50t未満は省略することができる。)		O.A.C	密度	理論密度	空隙率	飽和度	安定度	フロー値	O.A.Cとは最適アスファルト量 舗装調査・試験法便覧(3)-5	
ブル	ラ	粒度	1日1~2回(抽出の場合)	2.36mm ±12%以内(基準粒度) 75um ±5.0%以内(基準粒度)							舗装調査・試験法便覧(2)-16	
		合材抽出試験	アスファルト量	±0.9%以内							舗装調査・試験法便覧(4)-238	
ト	舗	温度測定	1時間ごと	配合設計の混合温度。 185℃を超えてはならない							温度計による	
		粒度(2.5mmふるい)	2.36mmふるい 1~2回/日								舗装調査・試験法便覧(4)-16	
		粒度(75umふるい)	75umふるい 1~2回/日								舗装調査・試験法便覧(4)-16	
		温度測定(初転圧前)	測定値の記録1日4回 (午前・午後各2回)	110℃以上								温度計による
装	工	現場密度の測定(コア密度)	3孔以上	$\bar{X}_{10} \geq 96$ $\bar{X}_6 \geq 96$ $\bar{X}_3 \geq 96.5$ 基準密度の94.0%以上							舗装調査・試験法便覧(3)-91	
		アスファルト量抽出試験	1,500m ³ に1回	$\bar{X}_{10} \pm 0.55$ $\bar{X}_6 \pm 0.50$ $\bar{X}_3 \pm 0.50$ % ±0.9%以内							舗装調査・試験法便覧(4)-238	